

図書館ホームページの魅力〈4〉

英米語学科4年次生 小池 あずさ

みなさんは図書館のホームページを利用しますか？私は本年度に卒業論文を執筆するのですが、これにあたり図書館のホームページの利用が頻繁に増えました。そして様々な便利な点を発見することができました。今回は私の図書館のホームページの使い方を紹介したいと思います。

まず『本学の蔵書検索』にリンクしてみてください。予め閲覧したい本を検索しておく、わざわざ図書館に行って調べる必要がないので便利です。もしも探していた本が図書館にない場合はウェブキャット (Webcat) のリンクで再検索してみてください。このリンクでのヒットがあれば、その本を所蔵している大学がわかるようになっています。どうしても必要な資料などであれば、本学の図書館で手続きをすると料金がかかりますが、閲覧が可能なシステムがあるので図書館員の方に聞いてみると良いと思います。

次に『データベース検索』についてです。ここでは本学の図書館の中から数多くのデータベース検索ができるようになっています。ここで気をつけてほしいことは、いくつかのリンクは学内からしかアクセスできないようになっています。私がよく利用するのは『日外web service magazine plus』です。これは過去の雑誌や紀要の検索がキーワードや著者名などから検索できるサイトです。ここでヒットした雑誌や紀要を外大の『本学の蔵書検索』で検索すると、本学にバックナンバーや過去の紀要があるかどうかを確認することができます。「数十年前のことについてだから・・・」と諦めずに、まずは検索してみてください。もしかしたら、私たちが生まれる以前の雑誌や紀要から役に立つ資料を得ることができるなんて少し不思議ですが、それと同時にうれしい気持ちにもなると思います。また記事だけでなく、雑誌の中に広告として掲載されている商品や宣伝の写真なども当時の社会を映しているようで、私はいつも興味をそそられてしまいます。

私は最近まで本格的にデータベース検索などを利用することがあまりなかったのですが、今では図書館に行くと必ず利用しています。みなさんも図書館にある資料を上手く図書館ホームページから検索して、効率よい資料収集や閲覧の仕方を自分なりに見つけてみてください。きっと新しい発見があるはずですよ。

こいけ あずさ